

令和6年度 学校評価アンケート（教職員・自己評価） 集計結果

○実施日：令和6年11月18日 ○回答者数：25人

<評価の判断基準>A=よくあてはまる B=あてはまる C=あまりあてはまらない D=まったくあてはまらない

・AとBの合計（肯定評価）が、◎=80%以上、○=60%以上、△=40%以上、×=40%未満

No.	評価の観点	Aの%	Bの%	Cの%	Dの%
1	学校教育目標・学校経営の方針を常に念頭に置いて、職務を遂行している。	46%	50%	4%	0%
		◎			
2	経営の重点1「授業改善と学力向上」について・・・基礎基本の定着に努め、授業力の向上、生徒の学力向上を実践している。	54%	46%	0%	0%
		◎			
3	経営の重点2「特別支援教育の推進」について・・・特別支援教育の視点を意識して生徒指導を行っている。	50%	46%	4%	0%
		◎			
4	経営の重点3「組織的な生徒指導の推進」について・・・職員間の連携（報告・連絡・相談）をこころがけ、協力して生徒指導に取り組んでいる。	63%	33%	4%	0%
		◎			
5	経営の重点4「安心・安全で信頼される学校づくり」について・・・生徒の生命や安全を第一に考え、安全点検（触視）を実施し、適切な安全管理を行っている。	54%	46%	0%	0%
		◎			
6	保護者や生徒から相談を受けた時は、親身になって話を聞き、誠意を持って迅速に対応している。	75%	25%	0%	0%
		◎			
7	いじめの根絶を意識し、暴力のない学校・学級・部活動作りを実践している。	83%	17%	0%	0%
		◎			
8	進んで校内外の研修に参加し、自己研鑽を行っている。	29%	50%	21%	0%
		○			
9	校務分掌を理解し、他の職員と協力して責任を持って職務にあたっている。	63%	33%	4%	0%
		◎			
10	部活動の顧問として、適切な指導計画のもとに経営を行っている。	38%	46%	8%	8%
		◎			
11	PDCAサイクルを実践し、教育活動の改善と質的向上を実現している。	29%	71%	0%	0%
		◎			
12	不祥事根絶を常に意識し、モラルの高揚に努め、教育公務員にふさわしい対応・言動をとっている。	71%	29%	0%	0%
		◎			
13	働き方改革を意識して、職務にあたっている。	58%	33%	4%	4%
		◎			
14	小中一貫教育の視点をもって指導にあたっている。	29%	67%	4%	0%
		◎			
15	授業の中で、学習規律の指導や生徒指導の機能を生かした授業を実践している。	50%	50%	0%	0%
		◎			
16	キャリア教育について、適切な情報を提供し、望ましい職業観の育成を実践している。	42%	58%	0%	0%
		◎			
17	読書指導について、読書の楽しさを啓発している。	17%	63%	17%	4%
		○			
18	生徒理解に努め、一人一人のニーズに応じた支援を実践している。	46%	54%	0%	0%
		◎			
19	いのちを大切にす心、思いやりの心を育てるとともに、人権意識の向上を図っている。	71%	29%	0%	0%
		◎			
20	望ましい生活習慣や規範意識の育成を実践している。	58%	42%	0%	0%
		◎			
21	生徒の自治・自立のための指導を実践している。	46%	54%	0%	0%
		◎			
22	学校は、積極的に保護者や地域の団体・行事に関わりを持っている。	46%	50%	4%	0%
		◎			

23	学校は、各種便りや保護者会で、教育方針を伝えたり、生徒の様子を具体的に紹介している。	63%	33%	4%	0%
		◎			
24	学校は、地域の人材や教材を積極的に活用している。	17%	67%	17%	0%
		◎			
25	学校は、小学校や高等学校と連携し、系統性のある学習指導・生徒指導を実践している。	8%	75%	17%	0%
		◎			

《教職員アンケートのまとめ》

- ・生徒指導に関する項目（6・7・12・19）については、A（よくあてはまる）の割合が多くなっており、心の教育に関する意識と教職員としての倫理観への意識が高いことがわかる。

[今後の課題]

- 昨今、生徒を取り巻く社会環境は急速な変化を日々続けているとともに多様化している。このような中で、私たち職員も広く様々な情報を日々、取り入れていくことが不可欠である。8の「校内外における研修への参加と自己研鑽」に関わる項目についての数値がやや低めとなっている。本校職員が研修や研究に取り組みやすい環境となるように努めていく。